

# マダニによる感染症にご注意ください！

平成 29 年 4 月～7 月にかけて、佐世保市内で重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の患者が 5 件確認されました。SFTS は、SFTS ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。

**予防のためには、マダニに咬まれないことが重要です！**

## マダニとは・・・

- 森林や草地など屋外に生息する比較的大型のダニです。  
(大きさ:吸血前 3～8 mm、吸血後 10～20 mm)
- シカやイノシシなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。  
民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにもいます。
- 春～秋(3～11 月)にかけて活動が活発になりますが、冬季も活動する種類もいます。
- ダニは、比較的やわらかい部位の皮膚に咬みつきます。咬まれた直後は自覚症状がなく、気づかないことも多いと言われています。

フタトゲチマダニ



タカサゴキキラマダニ



出典: 国立感染症研究所

## 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは・・・

- マダニが媒介する感染症です。
- ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。  
※国の調査によると、SFTS ウイルスを保有するマダニは全国に生息していると報告されています。⇒(ウイルス保有率:5～15%) (国立感染症研究所 IASR より)

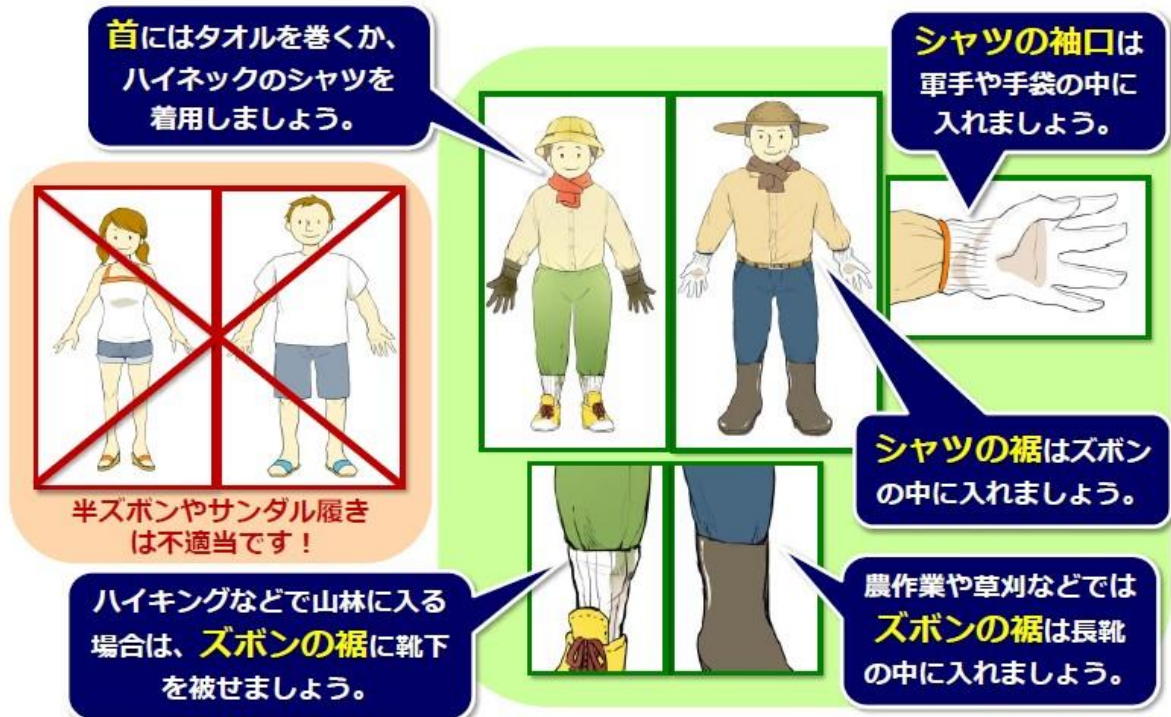
【潜伏期間】 6 日～2 週間程度

【症状】 発熱、消化器症状(食欲低下、嘔吐、下痢など) 重症化し、死亡することもあります。

【その他】 有効な治療薬やワクチンはありません。

## マダニに咬まれないためには・・・

- 草むら等マダニが多く生息する場所に入る際には、腕、足、首など**肌の露出を少なく**しましょう。



- DEET(ディート：忌避剤)を含む虫除け剤は、マダニを完全に防ぐわけではありませんが、一定の忌避効果があることが確認されています。
- 屋外活動後は、上着や作業着を家の中に持ち込まないようにし、シャワーや入浴でマダニがついていないかチェックしましょう。

## もしマダニに咬まれてしまったら・・・

- 吸血中のマダニに気づいたら、無理に取り除こうとせず(マダニの口器が皮膚の中に残り、化膿することがあるため)、医療機関(皮膚科、外科)を受診してください。
- 数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、速やかに医療機関(内科)を受診してください。

## ペットもマダニ対策をしましょう！



- マダニは草むらに多く潜んでいるので、飼い犬等の散歩は草むらの少ないコースをおすすめします。草むら等を散歩した場合は、ブラッシングし、マダニがついていないか確認しましょう。
- 定期的にマダニ駆除剤を使用する方法があります。獣医さんにご相談ください。

【問い合わせ】佐世保市保健所 健康づくり課

(0956)－24－1111 内線5537、5538